

行財政改革市民会議(平成19年度第2回) 会議録

日時：平成20年3月5日(水)
午後7時～9時
場所：全員協議会室

出欠状況

委員長	副委員長				
萩元	清水	新井	石倉	伊藤	江村
○	○	欠	○	欠	○
河合	田中	長島	羽石	林	吉田
○	○	○	○	○	○
その他の出席者					
事務局(政策財務課)		副部長、主査、主査、担当			

内容
<p>1 開会 総合政策部副部長</p> <p>2 委員長あいさつ 萩元委員長よりあいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 行財政改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度中間実績について ・平成20年度一般会計当初予算案の概要について ・臨時窓口開庁について <p>資料に基づき、事務局より一括して説明。</p> <p>(2) 意見交換</p> <p>委員：妊婦検診の公費負担拡大とブックスタートの実施は、歓迎すべきことである。ところで、地域子ども教室の予算は何のために使うのか。</p> <p>事務局：材料費、保険、実費程度の謝礼などに使うものである。</p> <p>委員：夏休み宿題教室についても市の支出があるのか。</p> <p>委員：それは青少年市民会議が行っていることであり、市の支出はない。</p> <p>委員：鶴瀬小学校の地域子ども教室の場合、校庭や体育館などを利用し、生涯学習課と鶴瀬公民館の職員が1名ずつ来て、サポーターとともにやっている。</p> <p>委員：前回会議で話が出た学級費についてだが、その後、徴収しなくなったと聞いたが。</p> <p>事務局：学級費の件については、市議会でも質問があった。教育委員会としては、学校ごとにと取組内容も異なるため、学級費の徴収の有無や金額の差は、やむをえないと</p>

考えている。基本的には、市内の学校で統一する方向で検討すべきではないか。

委員：市税の推移について、H19年度は、税源移譲により、前年度比12.3%となっているが、実感としてはもっと増えていてもいいのではないか。

委員長：「市税」の中には、市民税以外の固定資産税なども含まれているからではないか。

委員：市税の内訳はどうなっているのか

事務局：個人市民税が5割、固定資産税・都市計画税が4割、法人市民税が0.5割である。

委員：行政経営改革行動計画全般について、数値目標は設定しているのか。

事務局：行動計画の中には、数値目標の設定が難しい取組みもあり、すべての取組みについて数値目標を定めているわけではない。ただ、実施計画と併せて作成している部局運営方針では、数値目標を設定しており、方向性としては目標を設定する流れで動いている。

委員：行革の取組みを、単年度で実現可能なもの、複数年度かかるものに分類し、各項目について最終的な目標を設定しておくことで、年度ごとの目標が明らかとなり、各年度の目標に対する進捗状況の把握も容易になると考える。

委員：公用車の集中管理による効果はどれくらいか。

事務局：公用車1台当たりの購入+維持管理費用を約300万円と見込んでいるので、その分が削減効果額だと考えている。

委員：広報の有料広告を休止している理由は何か。

事務局：広告の料金設定が、広告スペース分の印刷費相当額程度であり、実質的な歳入の増加につながらないことから、一旦休止して、改めて検討することとした。

委員：市内循環バスについて、地域によってはライフバスとほぼ同じ時間帯に走行している場合があるため、ライフバスと同じような路線の場合は、時間帯を見直して欲しい。

事務局：現在、市内循環バスの路線や時刻表を見直している所だが、ライフバスの時間帯については確認していなかったもので、参考にしたい。

委員：妊婦検診の公費負担拡大については、出産に伴う費用も高額なことから、早急に実施してもらいたい。

事務局：新年度予算で対応する予定である。

委員：企業や研究機関等の誘致について、市の歳入増と雇用の創出につながるため、市街化調整区域の見直しも含めて、大胆に取り組んでほしい。

事務局：市街化調整区域の場合、物流施設であれば現状でも誘致可能だが、環境面から考えると必ずしも市民の方々から喜ばれる施設とは限らない場合がある。市としては皆さんから喜ばれる施設の誘致を目指したい。

委員：AEDは、集会所にも設置するのか。

事務局：AEDは、市職員がいる施設に設置する方針のため、集会所は想定していない。

委員：公民館の場合、休日や夜間には市職員が不在のため、すぐに使えない場合もありうるので、各町会でも使用できるよう集会所への配置を検討してほしい。

事務局：費用負担も大きいため、財政的に難しい。

委員：行政による設置が難しい場合は、町会自身でAEDを設置していくことも考える必要がある。

委員：市内循環バスの更新に伴い、天然ガス車などのエコカーを導入する予定はあるのか。

事務局：今のところディーゼル車を想定している。公用車の一部には天然ガス車も使用しているが、費用が高額なため導入があまり進んでいない。いただいた意見は、検討委員会に報告し、よい方策があるか考えていきたい。

委員：環境への配慮として、公共施設に太陽光パネルが設置できればよいと思うが、費用の面で難しいのだろうか。

事務局：キラリふじみなど一部の公共施設には太陽光パネルを設置しているが、費用負担が大きい。この分野に力を入れることも可能だが、そのことによって、別の分野で市民の方々に我慢を強いることになってしまうことも併せて考えなければならない。

委員：地球温暖化の原因は、突き詰めると食糧問題へ行き着く。これを乗り切るには、地域で対策を講じる以外にないが、20年度予算の概要の中にある「農地・水・環境保全向上対策事業」と「農業振興地域見直し基礎調査」とはどういう事業か。

事務局：「農地・水・環境保全向上対策」については、農業用水路の保全管理等を地域が共同で行うことに対して補助していくという事業であり、「農業振興地域見直し基礎調査」については、5年に1回、農業的土地利用の今後の方向性を定めるために行われる調査のことである。

委員：地球温暖化防止の観点から、農業の縮小には問題があると考えている。まずは農業に対する市民の理解を深める必要がある。

委員：夕張市が破綻した話を聞き、財政状況が厳しいと言われる富士見市のことが気になったため、行革市民会議委員に応募したのだが、事務局の説明を聞き、富士見市もいろいろ取り組んでいることが理解できた。ところで本日の議題と関係ないが、鶴瀬駅西口周辺の水はけが悪いのは何故か。

事務局：西口区画整理地内の20m道路の下には、雨水用の公共下水道管が設置済みだが、下流部分が接続されておらず、雨水を貯留するのみで下流へ流すことができないため、大量に雨が降った場合、貯留しきれず路上にあふれてしまうことがある。

委員：関沢小学校校舎の耐震補強工事はいつ行われるのか。

事務局：3月補正予算で対応することとなっているが、実際の工事は子どもたちがいない8月頃を想定している。

委員：市P連の総会は、今まで針ヶ谷コミセンで行っていたが、会場が手狭なことからキラリを使えないかという話が出ている。学校が利用する場合、年1回は使用料無料だと聞いたが、市P連の総会も年1回なので、無料にならないか。

事務局：地域の芸術文化の創造・発信というキラリの理念に基づく事業であれば、キラリとの共催事業として無料となることもあるが、キラリは原則有料であり、市がキラリを使用する場合も使用料を納めている。従って、市P連の総会も使用料を納めていただく必要がある。

委員：男女共同参画推進事業のうち、市民意識調査は具体的にどのようなものか。

事務局：第3次行動計画を策定するため、市民2000～3000人を対象に郵送形式で行うものである。

4 閉 会

総合政策部副部長